

令和8年度第二回 区長定例記者会見



令和8年9月9日

 葛飾区



目次

令和8年度第二次補正予算案

(単位) 千円

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額 B の財源内訳	
	A	B	C (A+B)	特定財源	一般財源
一般会計	285,241,084	12,495,098	297,736,182	1,000,673	11,494,425
国民健康保険 事業特別会計	49,994,000	672,868	50,666,868	-	672,868
後期高齢者医療 事業特別会計	12,985,000	206,175	13,191,175	-	206,175
介護保険事業 特別会計	47,079,000	1,457,712	48,536,712	48,038	1,409,674
合計	395,299,084	14,831,853	410,130,937	1,048,711	13,783,142

■ 葛飾区政策・施策マーケティング調査結果・・・P3

■ 【特集 1】災害に強いまちへ（防災の備え）・・・P 4

■ 補正予算に関連するもの

- ✓ 災害時の支援物資輸送体制を強化・・・P 5
- ✓ 物価高騰に直面する区内事業者を支援します・・・P 6
- ✓ 空襲等被害者へ見舞金を支給します・・・P 7
- ✓ 学童保育の拡充・・・P 8
- ✓ 家事・育児負担軽減に向けた取り組み・・・P 9
- ✓ 重症心身障害児等の家族の負担を軽減します・・・P10
- ✓ 家族等介護支援事業・・・P11
- ✓ 葛飾に適した気候変動適応策の実証事業・・・P12

■ 【特集 2】不登校対策への取り組み・・・P13

■ 【特集 3】シルバーパス10月1日より開始・・・P14

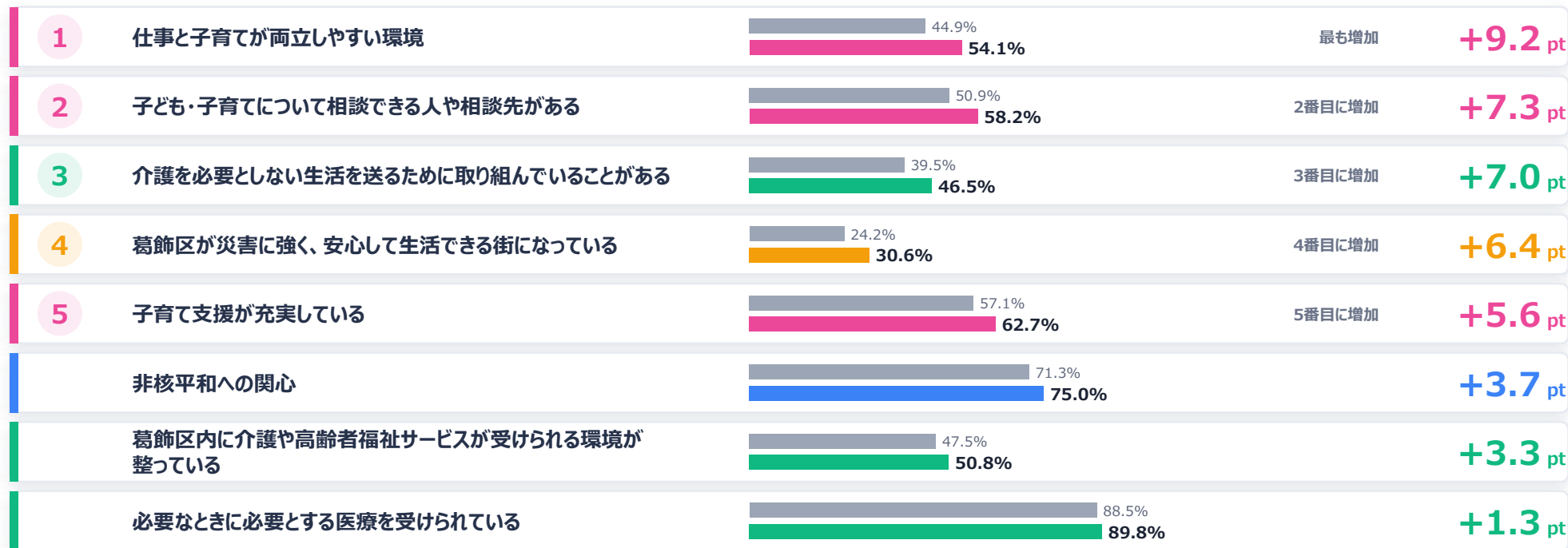
R8 政策・施策マーケティング調査 令和8年度 調査結果報告

「子育てするなら葛飾で」区の子育て支援施策を中心に、多くの項目で評価が向上しました。

約 **8割** が向上
全61問中 48項目で評価が上昇

分野 ● 子育て支援 ● 介護予防・高齢者福祉・医療 ● 防災 ● 平和

前回調査



平成16年度の調査開始以降、**住環境の良好 64.6%・必要な医療を受けられる 89.8%** はいずれも過去最高を記録しました。

施策の充実

● 防災DXの推進

・令和8年4月から災害時の迅速な情報収集や発信を行えるよう葛飾区総合防災情報システム（かつ防）を運用開始。

・区民向けの防災ポータルサイト「かつらッパ」を開設し、スマホやパソコンで災害時の避難情報や雨量などの最新情報をまとめて確認したり、付近の避難所を地図で探せるようになりました。



● 避難所の機能強化

・今後も学校は浸水対応型拠点建築物（水害時にも一定の避難ができる建物）として整備。
・福祉避難所へ移動できる自己循環型水洗トイレも配備済



● 災害に強いまちづくり

・道路が狭く、老朽化した木造建物等が密集する駅周辺の地区では、再開発事業等による街づくりを進めています。

● 住まいの安全性を高める

・住宅の耐震化
（旧耐震基準木造住宅等の補強設計耐震改修費➡最大220万円補助）
・液状化対策
（地盤調査費最大50万円補助 or 液状化判定調査者無料派遣 ➡液状化対策工事費最大130万円補助）
・感震ブレーカー設置助成
実績：令和7年度265件
令和8年度8月25日現在 76件

● 在宅避難の備えを広げる

・在宅避難ガイド（令和6年作成）に加えて葛飾区集合住宅防災マニュアル作成の手引きを作成（令和8年7月）

訓練の充実

● 総合防災訓練の実施

・時勢に合わせて台風、地震等具体的な災害を想定した図上訓練を実施。令和8年度総合防災訓練（令和8年8月30日）では、台風接近による外水氾濫を想定したロールプレイを実施。「知っている」から「動ける」へ、災害対応力の向上を目指します。



● 水防訓練の実施

・京成本線荒川橋梁部の堤防高は、周辺の堤防より低く、大雨等の増水時には越水の危険性があります。国による橋梁架替事業が完了するまで、区では夜間水防訓練を毎年実施しています。



● 支援が必要な人を支える訓練

・介護タクシー事業者との協定に基づく要支援者移送訓練（令和8年3月実施。令和9年2月も実施予定）

● 区内医療機関と実動の医療救護訓練実施（年1回）

・区内全域の医療機関及び関係機関と災害対策本部設置、緊急医療救護所開設、傷病者搬送等を想定した訓練を実施
（令和9年3月14日）

● 地域特性に応じた訓練

・地域（自治町会）の防災訓練 97件
（うち、外国人を対象とした訓練 3件）
・学校避難所運営訓練 34件（令和7年度実績）

災害時の支援物資輸送体制を強化

事業名

災害対策本部運営の強化

予算額

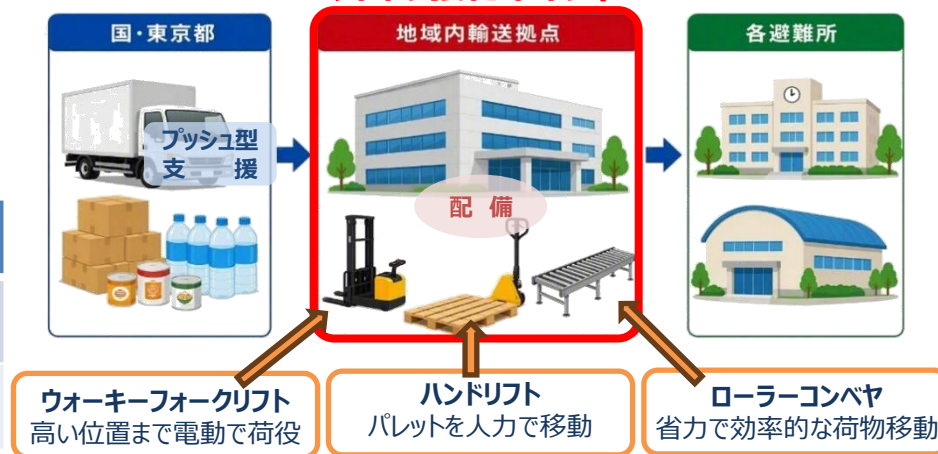
4. 7百万円

概要

国や都からのプッシュ型支援を受け入れる地域内輸送拠点において、荷役作業の効率化を図るため、ウォークリーフト等の資機材を配備します。

これまで	配備後
床に直置き →後から移動が困難	パレットに載せて置く →後からまとめて効率よく移動可能
手運びによる運搬 →人数も時間も必要	リフトやローラーコンベヤによる運搬 →省力化・運搬時間の短縮

今回の強化ポイント！



今後の予定

今回の資機材配備を踏まえた「物資輸送計画」の策定や、「物資輸送協定事業者との実動訓練」も予定しています。

令和9年2月
資機材納品

3月
物資輸送計画
の策定

8月
総合防災訓練で
協定事業者と
連携した実動訓練
を検討



物価高騰に直面する区内事業者を支援します

事業名

物価高騰緊急対策
支援支給事業経費

予算額

1,435百万円

中東情勢の緊迫化を背景とした物価高騰が長期化していることにより、経営に影響が出ている区内事業者の経費負担軽減の一助として、支援金を交付し区内事業者を支援します。

対象者

- ☐区内において1年以上事業を行っている中小企業
(法人及び個人事業主)
- ☐法人は都民税、個人事業主は特別区民税、都民税を滞納していないこと
- ☐確定申告を行っていること

支給額

1個人事業主あたり **3万円** (10,000事業者想定)

1法人あたり **15万円** (7,000事業者想定)

申請期間 (予定)

令和8年11月16日～
令和9年1月15日まで

年内支給を目指し
申請期間
前倒しました

支援金支給時期

令和8年12月中旬より順次支給

【参考】葛飾区中小企業景況調査 令和8年度第1回 (令和8年4～6月期)

原材料価格・材料価格・仕入価格について

区内中小企業の **65.6%** が上昇したと回答

【同調査における自由コメント分析】

- ・価格転嫁をしても、その後原材料価格上昇があり、「追いつかない」や「利益を圧迫する」との声も。

【参考】同支援金の過去の実績

年度	個人	法人	計
R5	7,652件	6,511件	14,163件
R6	8,103件	6,696件	14,799件
R7	9,085件	6,798件	15,883件

【現場の声】

- ・人件費、福利厚生に活用しました
- ・光熱水費等の上昇に伴う固定費の足しにします
- ・小型の機械購入費に活用し生産性向上に繋がりました

空襲等被害者へ見舞金を支給します

事業名

民間空襲等被害者見舞金支給経費

予算額

1 百万円

空襲等により障害や傷痕が残る民間被害者の方々は、今なお国の援護制度の対象になっていません。戦後80年を超え、被害を受けた方々の高齢化が進む中、長年にわたる労苦に報いるため、区独自の見舞金を支給します。

■ 支給対象

- ・先の大戦における空襲等の戦時災害による負傷・疾病が原因で障害・傷痕が残る方
- ・身体障害7級以上、精神障害3級以上または同程度の障害のいずれかに該当する方
- ・区内に1年以上在住
- ・恩給法等による給付を受けていない方

■ 見舞金

10万円（1回限り）



■ スケジュール（予定）

令和8年10月 対象要件に該当する可能性がある方へ申請書発送
令和8年10月～令和9年1月 申請受付
令和9年2月 審査・支給開始

▲葛飾区登録有形文化財「山本亭」に現存する防空壕。区ではこの貴重な戦争遺跡の保存に努め、特別公開などを通じて、当時の空襲の記憶や平和の尊さを後世に語り継ぐ取り組みを行っています。

学童保育の拡充

事業名

学童保育クラブ運営助成経費

予算額

58百万円

🏠 学童保育のさらなる充実へ ～働きやすい環境整備～

新設

私立学童保育クラブ職員宿舍借り上げ支援事業

私立学童保育クラブ職員の宿舍を確保する事業者に対し家賃の一部を補助し、「職員の確保・定着及び離職防止」を進めます。

【対象】 常勤放課後児童支援員、常勤補助員
(※経営に携わる事業者の役員は除く)

【補助基準額】 1戸あたり 月額 最大82,000円



本事業に対する事業者の活用意向 **94%**

ICT化推進事業

私立学童保育クラブにおける業務のICT化を進めるとともに、オンライン会議やオンライン研修に必要な経費などを支援することで、職員の負担軽減を図ります。

【対象】 私立学童保育クラブ

デジタル化推進事業

【対象】 ICT化推進事業の活用実績又は活用見込みのある私立学童保育クラブ

【補助基準額】 各補助合わせて
1施設あたり 最大1,000,000円

過去導入実績

- ・ノートPC・ノートPC周辺機器（ケーブル・マウス・キーボード等）
- ・入退室管理システム・タブレット・プロジェクタースクリーン
- ・モニター（オンライン会議・研修用）、ウェブカメラ など

家事・育児負担軽減に向けた取り組み

事業名

子育て家庭等家事サポーター派遣事業経費
ファミリーサポートセンター事業経費

予算額

124百万円



産前産後サポートと預かり支援

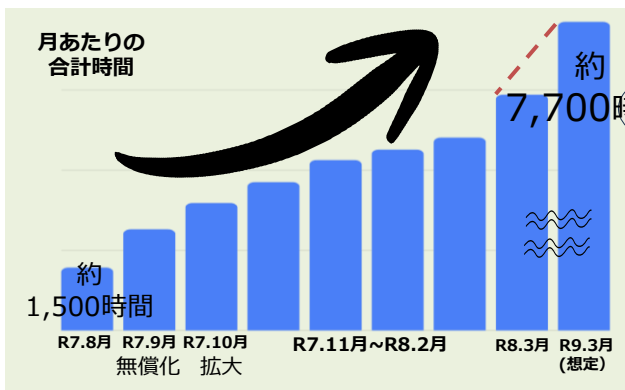
子育て家庭等家事サポーター派遣事業

【対象】区内在住の妊婦及び3歳未満児がいるご家庭

家事支援や外出時の補助を行うサポーターの派遣に対し、利用料を補助する事業。

令和7年9月からの「無償化」、
10月の「助成対象範囲拡大及び利用上限時間数の拡大」
により需要が増加し、当初想定を大きく上回る見込み。

無償化 拡大前に比べ
約4倍



人気内容 2選！
★掃除
★食事の支度



※23区トップクラス！所得制限なし・最大96時間（一部 双子の場合最大240時間）の
完全無償化

ファミリー・サポート・センター事業

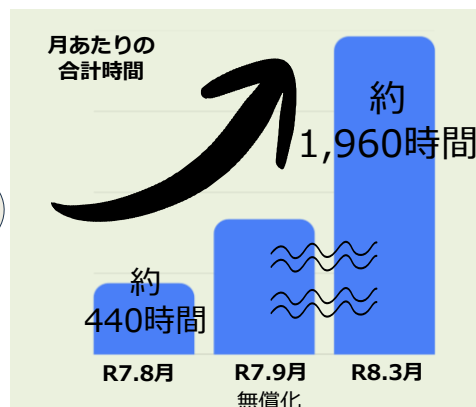
【対象】区内在住・在勤・在学で、
生後6か月～小学6年生の児童を育てる方

子育てを「手伝ってほしい人」と「手伝いたい人」
をつなぐ事業。令和7年9月からの「未就学児利用料
の無償化」により、需要が増加している。

区独自施策

無償化により
5倍近く
需要増

令和9年3月（想定）
約2,729時間



一時預かりベビーシッター利用支援事業

参考

日常生活上の突発的な事情等による一時的なベビーシッターの
利用に対し、利用料の一部を補助する事業。
気軽に使える制度として、需要が増加している。

重症心身障害児（者）等の家族の負担を軽減します

事業名

重症心身障害児（者）等
在宅レスパイト事業経費

予算額

9百万円

本事業は、医療的ケアが必要な障害のある方の在宅生活を支えるとともに、介護を担う家族の負担軽減や就労を支援し、本人と家族双方の生活を支える取組です。在宅生活を送る医療的ケア児（者）が増加する中、家族の介護負担軽減に対するニーズに応え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

概要・注目

レスパイト

休息、一時休止、息抜きを
意味する言葉です

レスパイト事業とは…

医療的ケアが必要な重症心身障害児（者）等を在宅で介護している家族の負担軽減を目的とした事業です。区と契約した訪問看護事業所の看護師が対象者の自宅を訪問し、家族に代わって一定時間、医療的ケアを行います。これにより、家族は休息時間を確保できるほか、就労や就職活動を行うことができます。

対象

医療的ケア児（※）・一定の要件を満たす重症心身障害児（者）
を介護する家族等

※人工呼吸管理等、特定の医療的ケアを受けている在宅の障害児

利用料

所得状況に応じて利用者負担あり
（2時間の利用により0円～1,500円）

利用上限

1年度の間**288時間**まで
1回の利用につき
2時間から4時間まで30分単位で利用可能

R8.4より
利用上限時間が
2倍に拡大！
※以前は144時間

<実績>

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用回数	117回	175回	103回 (4月～6月)
登録者数	39人	50人	54人 R8.7.31時点

家族等介護支援事業

事業名

家族介護者支援事業経費

予算額

13百万円

ご家族等を介護している皆様の休息等のために、高齢者等の方を一時的にお世話します。

高齢者等の介護をされているご家族等が介護疲れや疾病・冠婚葬祭・仕事などの理由で介護ができなくなった際に、高齢者等を区内の小規模多機能型居宅介護または特別養護老人ホームで、「通い」または「泊り」にて一時的にお世話します。

■施設をご利用できる方

- ・葛飾区内で家族等から介護を受けている
- ・65歳以上の方（介護認定の有無を問わず）
- ・40～64歳で要支援、要介護認定を受けている方
- ・介護施設での介護が可能な状態であること

■費用負担

原則無料（送迎含む） ※食事代、その他事業外のサービスは実費負担

■利用上限

- ・1人あたり年間最大42ポイントまで
- ・「泊り（3ポイント）」、「通い（4時間超2ポイント / 4時間以下1ポイント）」

■利用可能施設

- ・特別養護老人ホームは12施設
- ・小規模多機能型居宅介護は3施設

利用実績の増加



年度	泊り利用回数
R6	384
R7	1,353
R8(見込み)	2,197

葛飾に適した気候変動適応策の実証事業

事業名

気候変動適応策の推進

予算額

10百万円

短時間強雨や猛暑日の増加など、気候変動の影響により様々な課題が顕在化している。
今回、東京理科大学が葛飾キャンパス内（葛飾区新宿6-3-1）で実施する緑化駐車場・雨庭等の整備及び効果検証について、データを収集し区の地域特性に合った手法を探るもの。

整備・検証の必要性

猛暑・短時間強雨

昨今の気候変動に対し、環境に寄り添う適応が必要がある。

地下水位が高い

東部低地帯で、地下水位が高いため、特性に合う手法を見極める必要がある。

実測データ収集

暑熱緩和効果や**雨水流出抑制効果**に関する区内データが少ないため収集を行う。

緑化駐車場・浸透花壇

駐車場の緑化に加え、雨水が浸透しやすい土壌へ改良した「浸透花壇」を整備します。雨水を地中へ浸透させることで、豪雨時の雨水流出抑制やヒートアイランド対策への効果を検証します。



雨庭（レインガーデン）

雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中へ浸透させる「雨庭（レインガーデン）」を整備します。併せて水位観測井を設置し、雨水浸透量の変化などを測定することで、葛飾区の地域特性における暑熱緩和や雨水流出抑制の効果を検証します。

10月～12月
緑化駐車場・雨庭を整備

12月以降
効果を測定・検証

2月頃
実績報告・今後へ活用

大学の知見を活かし実測データを収集
データに基づいて、短時間強雨や猛暑に強いまちづくりへ

不登校対策への取組 子どもの状況に合わせた様々な居場所を展開しています

特集 2

9月1日問題 新学期の季節。夏休み明けは登校しぶりや不登校が増えやすい時期。

～学校に行きづらい子どもを誰一人取り残さないため、居場所づくりと早期支援を強化しています～

背景

- ・全国的に不登校児童・生徒が増加。要因は「人間関係」「無気力」「不安」など複雑化・多様化
- ・区内でも支援ニーズが高まり、特に小学校段階での対策強化が課題

現在の支援体制・新たな取組及び拡大状況

①双葉中学校に「**チャレンジクラス**」を新規開設

…ゆとりある生活時程で実態に応じた学習支援、心理的な支援を実施

新設

②**登校サポーターの拡充**（小学校）児童の登校支援や登校後の見守支援

…配置校を1校増やし、小学校3校で登校支援等を実施

拡大

③**校内サポートルームの充実** 教室に入りづらい児童・生徒の居場所

…5校で新規開設し、全24中学校で運営開始。小学校にも1校増設し、4校で運営

拡大

④**不登校対応巡回教員の拡充**（中学校）巡回拠点校及び巡回担当校を週1日ずつ巡回し、不登校生徒を支援

…巡回教員を2名増員し、5名体制で全24中学校を巡回

拡大

⑤**ふれあいスクール明石** 何らかの理由で在籍する学校に行くことができない児童・生徒の居場所及び

学習・体験活動の場、心理専門員による相談支援、仮想空間を活用した居場所も運営

充実



お出かけをもっと気軽に！ 令和8年10月1日受付開始 シルバーパス購入費の助成を開始します

特集3

【東京都シルバーパス】

70歳以上の都民が都営バスや都内の民営バスなどを1年間定額で利用できるパス

ここに注目

◆70歳以上のすべての方の**シルバーパス**購入に係る
自己負担額が1,000円となるように助成します！

ねらい

高齢者の外出や社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸や介護予防につなげます。

事業概要

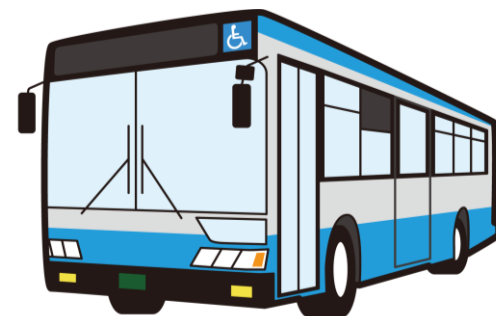
●助成対象

- ・70歳以上の方
 - ・令和8年度の住民税課税者で合計所得金額が135万円を超える方
 - ・令和8年10月1日以降に有効となる12,000円の東京都シルバーパスを購入した方
- ※ 助成対象以外の70歳以上の方は、1,000円で購入できます。

●想定購入者数：約13,000人

●助 成 額：**11,000円**

12,000円の東京都シルバーパスの自己負担額が、**1,000円**となるように助成します！



問い合わせ先

葛飾区シルバーパスコールセンター（令和8年12月28日まで）

電話：03-6632-1981

午前8時30分～午後5時（土・日、祝日を除く）